

## 次世代スーパーマイクロサージャリー研究会 オンライン講演会

手術の未来：3Dで直感的、隣接するリンパ管と  
静脈に光明が差す。リンパ浮腫検査の最前線。

2024.6.18 火 18:00 - 20:00

がん治療の際、リンパ節切除等によるリンパ浮腫を発症する患者が日本でも10万人以上存在し、日常のQOLを制限される患者が、年々増加しています。リンパ浮腫はリンパ液の流れが滞ることで四肢などに「むくみ」が生じてしまう疾患です。リンパ管は全身に張り巡らされたネットワークでありながら、透明で極めて細いことから、術者による観察も非常に困難となっています。リンパ浮腫の手術では、顕微鏡を覗きながら、直径0.5mm以下のリンパ管を静脈と縫い合わせてバイパスを作り、滞ったリンパ液を静脈へ流しスムーズに流れるようにすることで浮腫の改善を図ります。

鈴木悠史先生をはじめとして、慶應義塾大学医学部形成外科で取り組んでいる光超音波によるリンパ管イメージングの検査は、従前の検査機器では不明瞭だったリンパ管も、張り巡らされた静脈とリンパ管が色分けされ、3Dとして全方向に可視化されます。これにより、静脈に隣接し、リンパ液をスムーズに流せ、正常に機能しているリンパ管の選定を容易におこなうことができるようになりました。現在、保険適応外の検査手法ですが、患者のQOLを考慮すれば低侵襲の治療が実現できるだけでなく、バイパスさせる静脈とリンパ管を見極めることが容易になったことで術者の負担軽減も図れることから、双方の負担軽減の観点からも早期の保険適応と検査手法の展開が望まれています。同様に三次元的に広範囲にリンパ管を評価することができるMRIと光超音波を比較することで、この最新技術の有用性と課題を紹介します。

光嶋先生からは、最前線の医療現場でおこなわれているリンパ管移植、超音波リンパ穿通枝マッピング、リンパ浮腫、そしてバイオインピダンス客観的評価等に焦点を当て、これらの分野での最新の研究成果や臨床応用についてご紹介します。



オープニング講演

## スーパーマイクロサージャリー最新の知見

光嶋 勲 氏 広島大学病院 形成外科 科長  
国際リンパ浮腫 治療センター 寄附講座 教授

基調講演

MRIと光超音波イメージングを用いた  
リンパ外科領域における最新の画像診断

鈴木悠史 氏 慶應義塾大学医学部 形成外科 特任助教

2014年3月 慶應義塾大学医学部 卒業、2014年4月 藤枝市立総合病院 初期臨床研修医、2016年4月 慶應義塾大学医学部 形成外科 専修医、2016年10月 横浜市立市民病院 形成外科 専修医、2017年4月 東京歯科大学市川総合病院 専修医、2018年4月 琉球大学医学部附属病院 形成外科 後期研修医、2019年4月 国際医療福祉大学三田病院 形成外科 専修医、2019年10月 慶應義塾大学医学部 形成外科 専修医、2020年4月 慶應義塾大学医学部 形成外科 特任助教

World Society for Reconstructive Surgery Active member

【受賞歴】日本形成外科学会 2020 年度学術奨励賞、日本抗加齢医学会 2021 年度研究奨励賞、日本形成外科学会 2022 年度学術奨励賞 臨床部門 優秀賞、Best Paper Award 2022 Archives of Plastic Surgery (APS)、12th congress of the world society for reconstructive microsurgery Microsurgery Face-off 1st prize、第7回日本リンパ浮腫治療学会学術総会 優秀演題賞

◆ 参加費とお申込み : <https://cpk.jp/reg/2>参加費：企業・公共機関など団体様は、1人15,000円、2人28,000円、3人40,000円  
※お得な6か月、12か月おまとめ購入チケットもございます。

\*医療従事者、アカデミア、学生（社会人学生を除く）は無料です。

◆ 事務局：一般社団法人みらいメドテック | E-mail : [info@ikou-funding.com](mailto:info@ikou-funding.com) | <https://ikou-funding.com>